

精密板金の小林製作所

(石川県白山市、小林靖典社長)は、ウェブカメラで静止画を連続撮影して生産工程を管理する自社システムを外販する。動画に比べて設備投資が抑制できるうえ、画像検索などの操作がしやすいのが特徴。近く特許を出願する考えで、代理店を募って主に中小企業に販売する。生産効率の向上やクレームの原因究明を通じてユーザーの収益力が高まるという。

同社の生産管理システムは、板金の切断、曲げ、溶

工程別にウェブカメラ

連続静止画で生産管理

接、塗装といった各工程に固定ウェブカメラを設置し、1秒間に1回、静止画を撮影する。システムを管理するパソコン(PC)で静止画を連続再生し、あたかも動画のように見られる。一定間隔の画像のため産



生産管理システムの管理画面

小林製作所 自社システム外販

業ロボットの高速動作などはとらえきれないが、「手作業であれば問題はない」(小林社長)という。出荷から数年後にクレームが出ても記録をさかのぼれるよう、静止画の連続撮影によってデータ容量を必要最小限に抑えた。

代理店を募って年内に外販事業を立ち上げる。ウェブカメラによる静止画の撮影と管理に限定したシステムが約60万円から、見積もりから出荷までの生産管理と連動したシステムが仕様によって200万〜500万円程度になる見通し。

(金沢)